



2024年5月15日

各 位

上場会社名 三 共 生 興 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役社長 CEO 井ノ上 明
(コード番号 8018 東証スタンダード市場)
問合せ先責任者 取 締 役 日 野 尚 彦
(TEL. 06-6268-5214)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2025年3月期から2027年3月期に係る第2次中期経営計画「CHALLENGE NEXT 100」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本計画の詳細については、添付資料をご参照ください。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上



第2次 中期経営計画

2025-2027

CHALLENGE NEXT 100



目次
Contents

三共生興グループとは

本章

- I 前中期経営計画の振り返り
- II 新中期経営計画について
- III 定量目標
- IV 資本戦略
- V サステナビリティ（ESG戦略）

三共生興グループとは

企業理念



人の
企業である



挑戦の
企業である



共存共栄の
企業である



社会的責任の
企業である

Mission

生活文化提案企業として、人々の生活の質の向上に寄与し、豊かな夢のある社会の実現に貢献します。

Vision

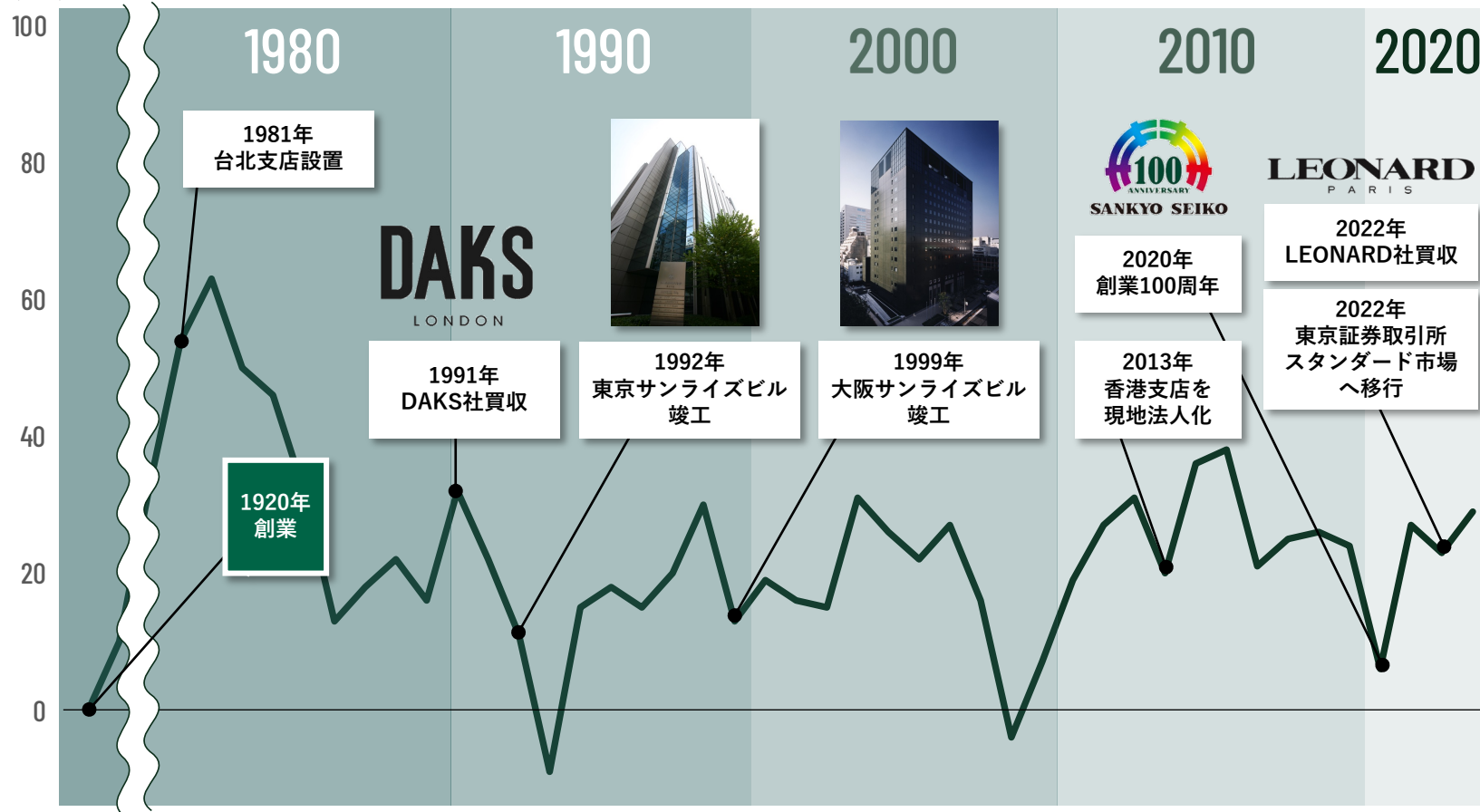
時代とともに生まれ続ける新しい価値観を、未来のあたりまえに。

100年先の子どもたちのためにできることを社員一人ひとりが自ら考え実行し、イノベーションの創出を目指します。

三共生興グループとは 三共生興の歩み

～ 1920年 創業者 三木瀧蔵が「三木商店」を創業したことからはじまりました ～

経常利益
(億円)



三共生興グループとは 欧州高級ブランドを保有

2つの欧州高級ファッションブランドを買収して保有



アジアでの強固な販売ネットワークで
グローバルにビジネスを展開

- ・ 1894年創業の英国王室御用達ブランド
 - ・ 1991年に当社が買収
 - ・ 現在世界2,837カ所※(8カ国)で展開中
- ※ショップ309店、平場2,528カ所

DAKS
LONDON



LEONARD
PARIS

- ・ 1994年からパリコレクションに参加
- ・ 2022年に当社が買収
- ・ パリ・フォーブル・サントノーレとカンヌに
旗艦店を構え、現在世界約80カ所(17カ国)で
展開中

三共生興グループとは 3つの事業セグメント

3つの事業セグメントの着実な成長を目指し、チャレンジし続けます。



ファッション関連事業

「DAKS」「LEONARD」を
軸としてグローバルに
ビジネスを展開



繊維関連事業

アパレルのOEM事業を
中心に展開



不動産関連事業

貸オフィス、貸ホール、
貸ビルを中心とした賃貸事業

売上高比率
(%)

46

43

11

(2024年3月期)

■ ファッション関連事業 ■ 繊維関連事業 ■ 不動産関連事業

I 前中期経営計画の振り返り 1. 財務数値目標について

定量目標対比

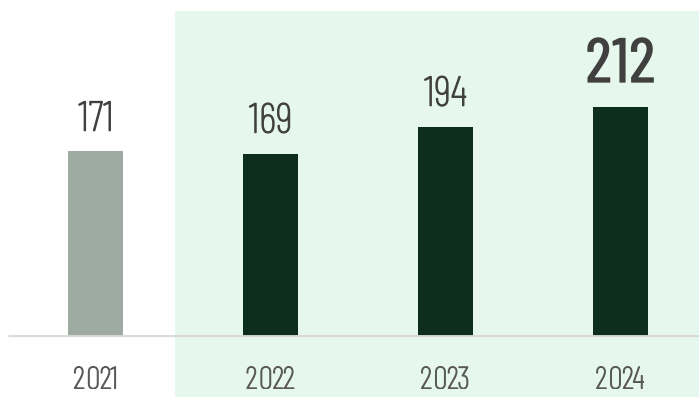
コロナ禍による厳しい市場環境の中、1年前倒しで当初定量目標を達成。

定量目標を上方修正、また着実な売上拡大を目指すため、売上高を定量目標に追加。

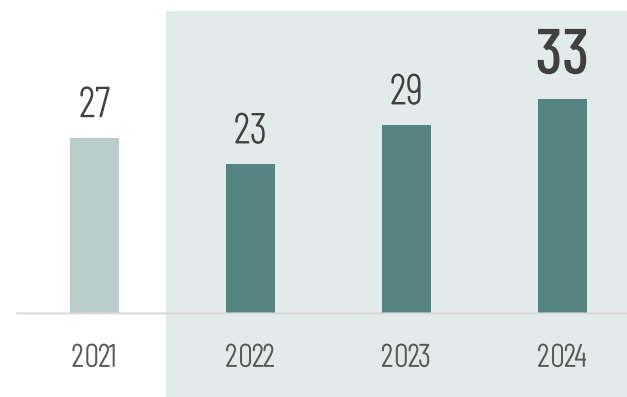
	当初目標	定量目標	2024年3月期 実績
売上高	—	210億円	212億円
経常利益	25億円	30億円	33億円

➔ 定量目標を達成

売上高 (億円)



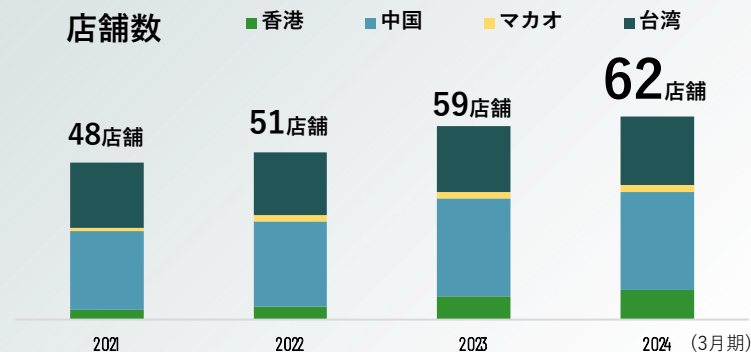
経常利益 (億円)



I 前中期経営計画の振り返り 2. 基本戦略について

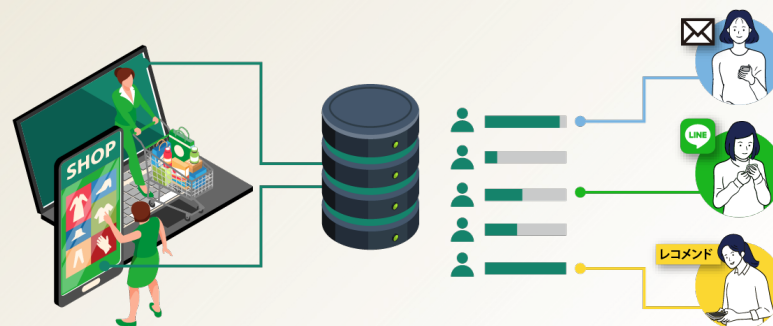
○ アジア市場重視

- ・ コロナ禍による往来が制限される中、順調に店舗数拡大



○ DX推進

- ・ 顧客管理システム導入
- ・ 国内主要グループ会社の基幹システム統合
- ・ 3Dパターンの展開



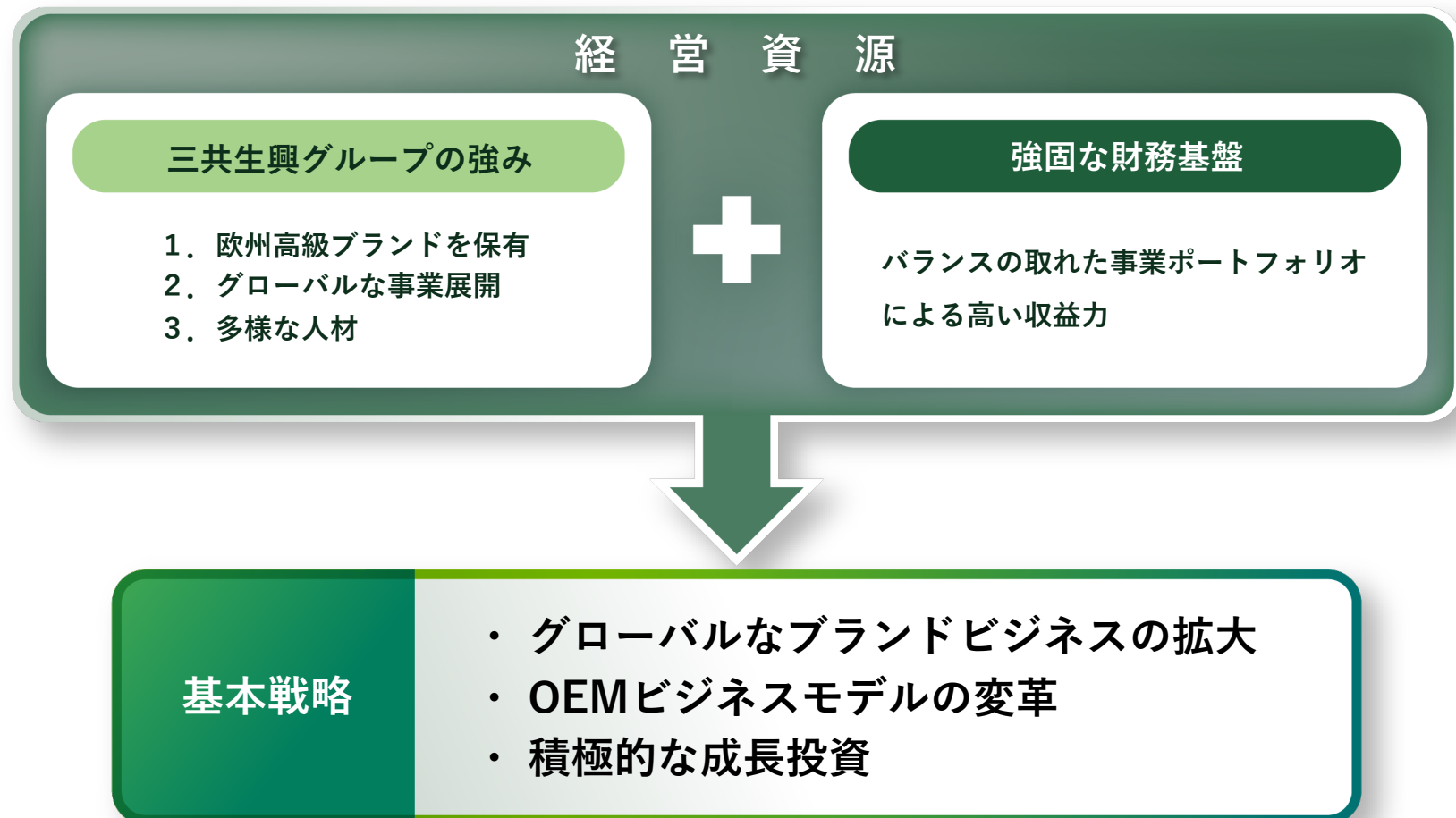
○ 全社戦略

- ・ LEONARD社買収によるグループ力の強化
- ・ 賃貸用不動産としてジオエント新町を取得
- ・ ユナイテッドシルク株式会社への出資および業務提携



II 新中期経営計画について 1. 基本戦略

2021年5月に定めた長期ビジョンである新経営方針「共生NEXT100」の更なる深化を図り、自社の強みである経営資源を有効活用し、事業ポートフォリオの強化を行う。



II 新中期経営計画について 2. 事業戦略 ～ファッション関連事業

グローバルなブランドビジネスの拡大

1 DAKS

- ・グローバルなライセンスビジネスの再構築
- ・世界主要都市で新規旗艦店出店を加速

DAKS
LONDON

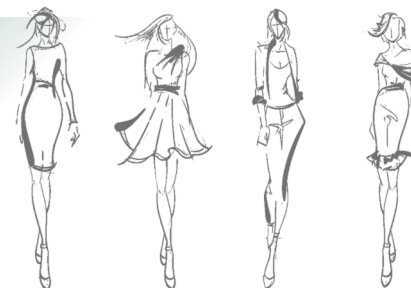
2 LEONARD

- ・新規顧客開拓 & 新規市場参入
- ・世界主要都市で新規旗艦店出店を加速

LEONARD
PARIS

3 新規ブランド

- ・新たなブランドへの投資、育成



II 新中期経営計画について 2. 事業戦略 ～繊維関連事業

OEMビジネスモデルの変革

1 高付加価値提案の強化

- ・ アパレル商材以外への取り組みの強化
- ・ オリジナル性の高い素材開発の強化

2 生産サプライチェーンの拡充

- ・ 国内、中国での小ロットQR生産体制の確立
- ・ 東南アジア、南アジアでの生産体制の強化

3 新規事業の創生

- ・ 新規ブランド、新規商材のグローバルな展開
- ・ M&Aによる非繊維分野への進出



II 新中期経営計画について 2. 事業戦略 ～不動産関連事業

不動産収益の向上

1 保有不動産の中長期的な安定収益力の強化

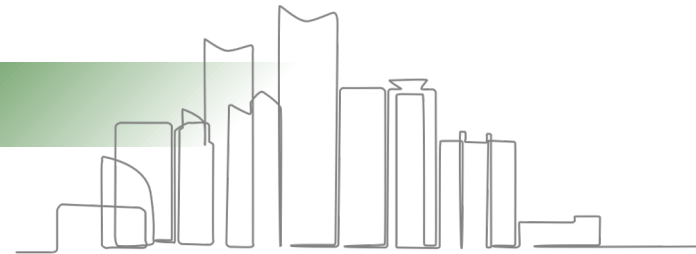
- ・ 賃貸収入を最大化し、着実な利益の向上

2 積極的な不動産投資

- ・ 安定収益を創出するポートフォリオの構築

3 保有不動産の環境負荷低減設備への投資

- ・ LED、省エネ空調設備への更新



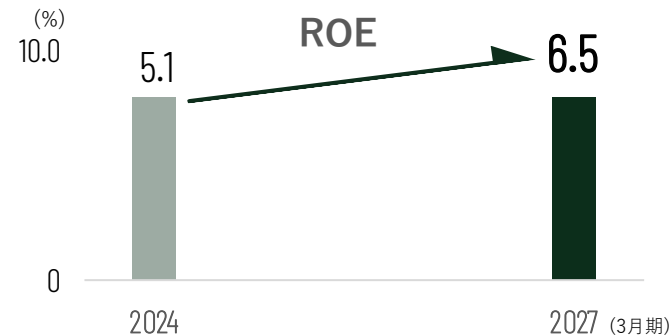
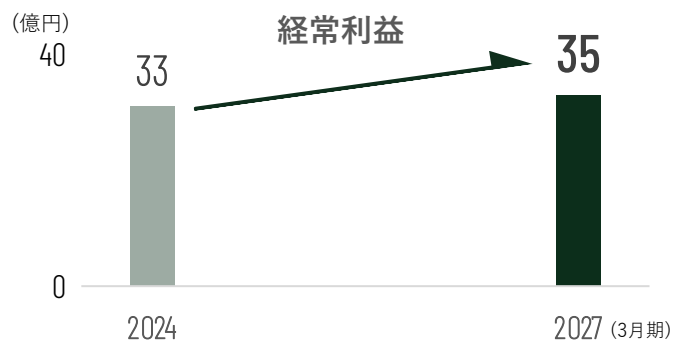
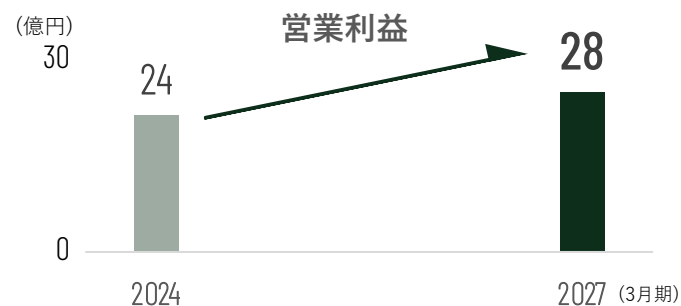
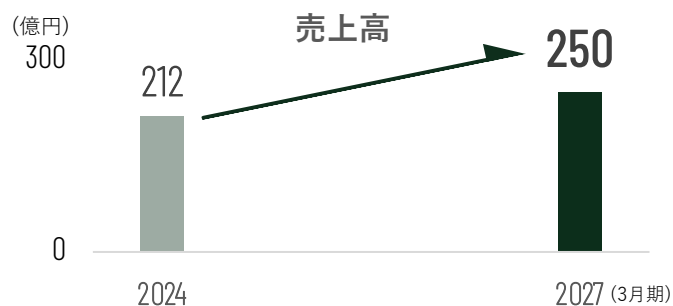
II 新中期経営計画について 3. 積極的な成長投資

強固な財務基盤を維持しつつ、健全な借入を行い、積極的な成長投資を継続していく。



Ⅲ 定量目標


2027年3月期 連結目標		
成長性	売上高 250億円	CAGR 5.0%
収益性	営業利益 28億円 経常利益 35億円	営業利益率 11% 経常利益率 14%
効率性	資本効率 ROE 6.5%	



IV 資本戦略 資本コストや株価を意識した経営の実現に対する取り組み

1. 現状分析と課題

- ① PBRは現状、0.6倍で推移
- ② ROEは、5.1%で推移
- ③ 株主資本コスト 4.7%程度、資本コスト 4.3%程度と試算

当社グループのROEは、
 株主資本コストを上回っているが、
 一層の資本収益性の向上を目指す。

2. PBR方針

PBR向上を重点課題とし、株価を意識した経営を目指す。

ROE

- ① 成長戦略の実行
- ② 資産効率の向上
- ③ 株主還元の強化

PER

- ① 積極的なIR開示
- ② 個人投資家、機関投資家向け
決算説明会の実施

IV 資本戦略 株主還元強化

株主還元強化

当社グループは、株主還元を経営上の最重要課題のひとつと位置づけており、

上場以来63年間、配当をし続けております。

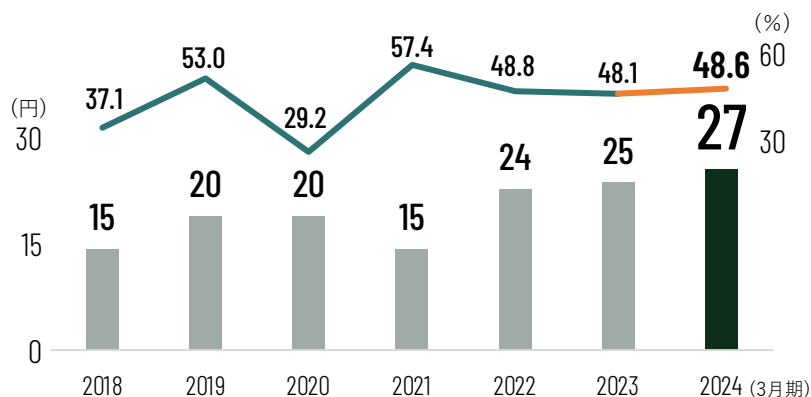
今後も更なる株主還元を努め安定配当することにより、より良い社会の実現に貢献してまいります。

株主還元方針

配当性向 50%を目安

(特別損益を除く)

1株あたりの配当金/配当性向 推移



株主優待制度の再開

保有株数に応じて、
当社ECサイトにおけるDAKS、
LEONARD商品の
優待割引、株主優待セール等を実施



株主様 保有株式数	株主様限定 ご優待ECセール	DAKS・LEONARD EC優待割引20%	DAKS手帳 LEONARDカレンダー
100株～ 500株未満	○		
500株～ 1,000株未満	○	○ (上限：3万円)	
1,000株以上	○	○ (上限：10万円)	○

V サステナビリティ（ESG戦略）

三共生興グループ サステナビリティ方針
































グループの企業理念のもと、当社グループを取り巻く社会のあらゆる課題に取り組むべく長期的視点でSDGs経営を推進し、サステナブルな世界の実現を目指します。



三共生興グループのESG戦略

三共生興グループではサステナブルな社会の実現に向けてあらゆる社会課題に取り組むため、**環境（Environment）**・**社会（Social）**・**ガバナンス（Governance）**の視点からそれぞれの課題を特定し、課題解決に向けた取り組みを進めるESG戦略を実行します。

V サステナビリティ（ESG戦略）

課題		主な活動内容	SDGsとの関連	
E 環境	1.脱炭素社会への貢献	東西サンライズビルの空調設備刷新 & 照明LED化によるCO ₂ 削減	 	
		環境認証取得へ向けた取り組み	 	
	2.環境負荷の低い原材料の活用	環境配慮型素材を使用した製品づくり	  	
	3.廃棄物の削減	適正な在庫管理と消化率改善による余剰在庫削減の推進	   	
		受注生産の取り組み	   	
4.資源の有効活用	東西サンライズビルのごみの再資源化率向上への取り組み	   		
S 社会	1.人的資本への投資	① 人材育成	従業員研修の実施、リスクリング支援制度の実施	 
		② ダイバーシティ&インクルージョン	女性リーダーの育成、女性管理職比率の向上	  
			女性が活躍しやすい労働環境の整備	 
	2.従業員エンゲージメントの向上	① エンゲージメントの可視化	従業員エンゲージメント指数をモニタリング	
			キャリアパスに沿った挑戦できる環境作り	
		② 挑戦しやすい・働きやすい環境の整備	従業員満足度調査の実施	
			ワークライフバランスの実現	
		ストレスチェック等による従業員のメンタルヘルスケア		
G ガバナンス	1.ガバナンスの強化	コンプライアンスの徹底とリスクマネジメントの強化	グループ全社に対する定期的な内部統制監査の実施	
			不正予防として外部通報窓口（ヘルプライン）を強化	
			法令順守や情報漏洩予防のための従業員研修を実施	

100年先の子どもたちのために

本資料に記載されている内容は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の将来の業績を保証するものではありません。